

授業科目 日常生活活動学実習 II (生活技術代償法)

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	作業
今西 里佳		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎		◎	◎	◎	
【概要・一般目標：GI0】					
脳血管障害や慢性関節リウマチによって生活動作や行動に支障をきたした対象者のADL自立促進や介助量を軽減させるための評価、治療・指導方法を習得する					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳血管障害や慢性関節リウマチの病態や臨床経過に応じた活動レベルに関心を持ち、積極的に取り組む態度で学ぶことができる 2. 脳血管障害に対するADL評価・訓練・指導技術について説明することができる 3. 脳血管障害に対するADL訓練・指導法・介助法を模擬的に実施することができる 4. 脳血管障害に対するIADL評価・訓練・指導技術について説明することができる 5. 脳血管障害における動作自立や介助量軽減のために必要な福祉用具や環境調整を述べることができる 6. 慢性関節リウマチに対するADLおよびIADLの評価・訓練・指導技術について説明することができる 7. 慢性関節リウマチに対するADL訓練・指導を模擬的に実施することができる 8. 慢性関節リウマチにおける動作自立や関節保護のために必要な福祉用具や環境調整を述べるができる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	脳血管障害のADL評価・訓練 基本動作(1)			1～3,5	講義・演習
2	脳血管障害のADL評価・訓練 基本動作(2)			1～3,5	講義・演習
3	脳血管障害のADL評価・訓練 嚥下・摂食動作(1)			1～3,5	講義・演習
4	脳血管障害のADL評価・訓練 嚥下・摂食動作(2)			1～3,5	講義・演習
5	脳血管障害のADL評価・訓練 排泄動作(1)			1～3,5	講義・演習
6	脳血管障害のADL評価・訓練 排泄動作(2)			1～3,5	講義・演習
7	脳血管障害のADL評価・訓練 衣服着脱動作(1)			1～3,5	講義・演習
8	脳血管障害のADL評価・訓練 衣服着脱動作(2)			1～3,5	講義・演習
9	脳血管障害のADL評価・訓練 整容動作			1～3,5	講義・演習
10	脳血管障害のADL評価・訓練 入浴動作			1～3,5	講義・演習
11	脳血管障害のIADL評価・訓練(1)			1,4,5	講義・演習
12	脳血管障害のIADL評価・訓練(2)			1,4,5	講義・演習
13	慢性関節リウマチのADL評価・訓練(1)			6～8	講義・演習
14	慢性関節リウマチのADL評価・訓練(2)			6～8	講義・演習
15	福祉用具講習			1,5,8	演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ADLとその周辺 第2版	伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院	2008・6,000円
		片麻痺能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	2008・5,200円
参考書					
その他の資料		配布資料			
【評価方法】				【履修上の留意点】	
知識理解・技能の確認として小テストを実施する。また、出席、レポート提出期日厳守や演習に意欲的に取り組む授業態度を重んじる。出席、授業態度、レポート提出、小テスト、定期試験の結果から総合的に判断する。					